

平成 21 年 12 月 22 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社セラーテムテクノロジー
 代 表 者 名 代表取締役社長 池田 修
 (コード番号 4330、大証ヘラクレス市場)
 本 社 所 在 地 東京都中央区日本橋本石町 3 - 1 - 2

業績予想の修正に関するお知らせ

近時の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 8 月 7 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1 平成 22 年 6 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

(平成 21 年 7 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり四半期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	750	30	30	30	263.43
今回修正予想 (B)	850	55	45	45	329.56
増 減 額 (B - A)	100	85	75	75	
増 減 率 (%)	13.3				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 21 年 6 月期第 2 四半期)	1,058	183	211	219	2,752.33

注：平成 22 年 6 月期第 2 四半期の期中平均株数は 136,544 株。

2 平成 22 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 21 年 7 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	1,600	10	10	10	87.81
今回修正予想 (B)	2,500	350	370	340	1,771.15
増 減 額 (B - A)	900	340	360	330	
増 減 率 (%)	56.3				
(ご参考)前期実績	1,859	356	370	927	11,622.95

注：平成 22 年 6 月期の期中平均株数は 191,966 株。

3 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間の業績予想について

当社グループでは、当期から新たな経営体制の下、第三者割当増資と転換社債型新株予約権付社債の発行により資金調達を行い、財務基盤を強化し、当社グループ成長戦略を積極的に実行するとともに、全社的な営業黒字体制の確立のために取り組みました。

その結果、売上高は、未だ先行き不透明感が強い北米市場において、前年同期比では、減少したものの、フロント管理分野並びに地理情報システム分野が健闘した結果、当初計画を上回る見通しとなっております。また、計画を上回る売上高に加え、前事業年度に実施した事業再構築による効率性向上並びに徹底したコスト管理の効果から、営業損益は大幅に改善し、第1四半期連結会計期間においては、営業黒字化を達成いたしました。為替相場など当社連結業績にとって逆風の中、当第2四半期以降においても、この経営改善効果により、継続的な営業黒字が達成できる見通しになっております。

以上から、上記の通り、業績予想を修正いたします。

(2) 通期の業績予想について

上記の通り、既存の当社グループ営業黒字体制の確立が、当初の予定より早期に実現できたため、通期業績も当初予想より大幅な黒字が達成できる見通しとなりました。

この既存ビジネスにおける営業黒字体制の確立に加え、さらに平成21年11月13日に公表いたしました「北京誠信能環科技有限公司子会社化に関するお知らせ」および平成21年12月21日に公表いたしました「北京誠信能環科技有限公司の子会社化完了ならびに負ののれん発生に関するお知らせ」の通り、当社が北京誠信能環科技有限公司を100%子会社化したことにより、第3四半期以降、同社の業績および負ののれんの償却益が当社の連結財務諸表に反映され、さらなる収益性の向上が実現できる見通しとなりました。

以上から、上記の通り、業績予想を修正いたします。

以上

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、当社は個別業績予想を開示しておりません。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社セラーテムテクノロジー IR担当 TEL: 03-6820-0740